

日 時：2026年〔令和8年〕7月10日

参加者：岡村真由美・岡村繁雄 他2名

行程：サンシャイン・ヒレッジ駐車場〔ハンプサンシャインサマーゴンドラ〕→サンシャインマウンテンロッジ〔スタンディングチェアリフト〕
→スタンディッシュ山頂上→スタンディッシュ展望デッキ→スタンディッシュ分岐→ループ分岐
→シンプソン展望台→ループ分岐→スタンディッシュ分岐→ロック・アイル・レイク展望台
→シタデル・パス分岐→サンシャインマウンテンロッジ〔ゴンドラ〕→サンシャイン・ヒレッジ駐車場

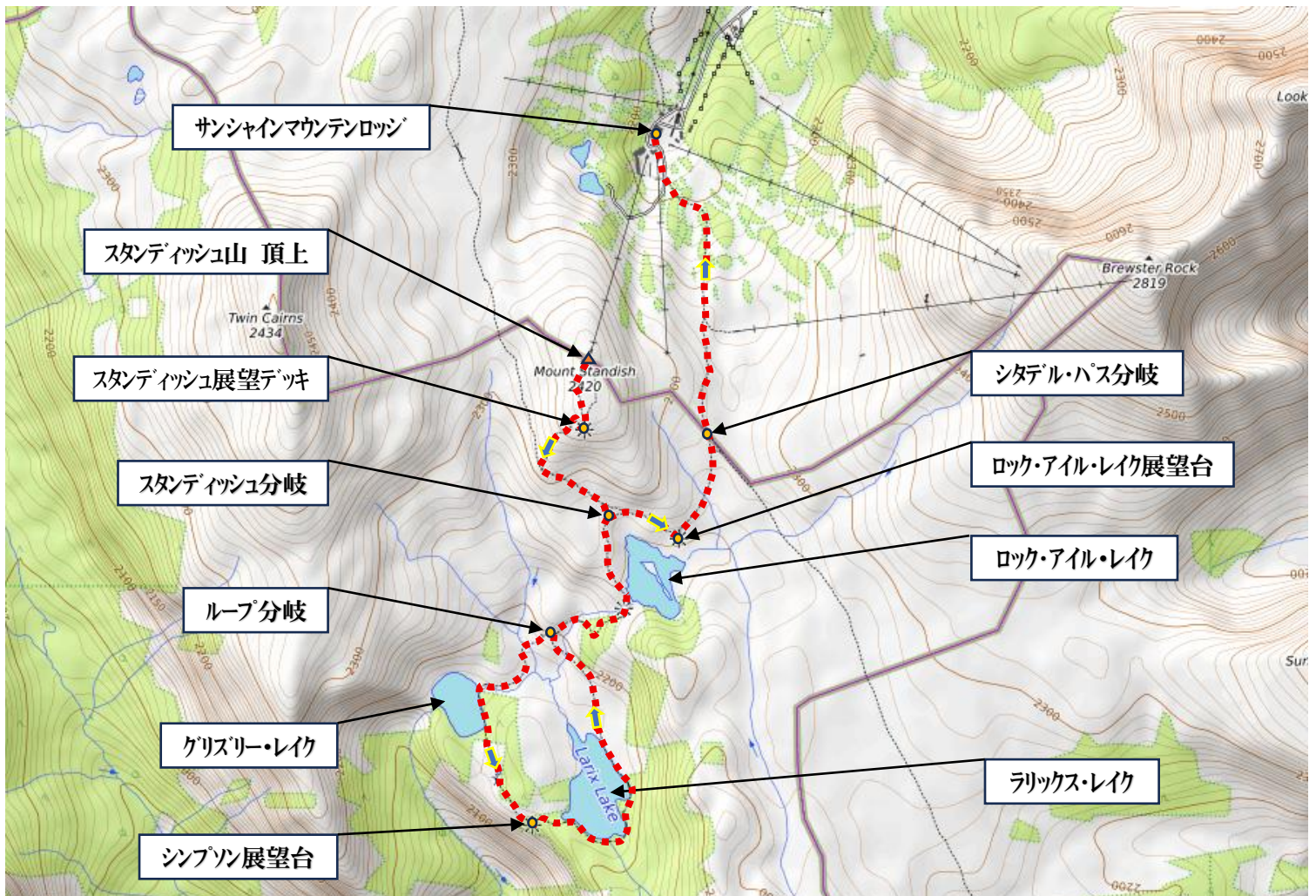
※ バンプサンシャインサマーゴンドラ(夏季運行：2026年7月6日～2026年9月20日)
ゴンドラ&チェアリフトパッケージ料金：成人(18+)：80ドル+GST ・シニア(65+)：70ドル+GST

行動時間：3時間30分(スタンディング山頂上～サンシャインマウンテンロッジ)

6月24日にカナダへ入国してから17日目となる7月10日。キャンモアのB&B モナークで過ごすのも、今夜が最後となった。17泊したうち、3泊はアシニボインのレイク・メイゴッグ・キャンプ場で過ごしたため、キャンモアでの滞在は14泊となる。

長かったカナディアンロッキーでの山旅も、いよいよ今日が最後である。振り返れば、レイク・ルーズやモレーン・レイクをはじめ、アシニボイン、ヒーリー・パス、ヤムナスカなど、数多くの山や湖を巡り、さまざまな景色や自然に出会うことができた。

連日の山歩きで体はかなり疲労していたが、サンシャイン・メドウズのコースは高低差もそれほど大きくないので、最後のハイキングとして歩いてみることにした。



OpenTopoMap org より 今回のコース



バンフサンシャインサマーゴンドラ



スタンディングチェアリフト〔スタンディッシュ山 頂上〕

サンシャイン・ビレッジ駐車場から、8時に運行を開始したバンフサンシャインサマーゴンドラに乗り込む。ゴンドラは途中で乗り換えることなく、途中で90度方向を変えながら一気に標高を上げ、サンシャインマウンテンロッジへ到着した。

ゴンドラを降りると、隣接するスタンディングチェアリフトに乗り換える。こちらであっという間に高度を上げ、標高2,420mのスタンディッシュ山頂上に到着した。やや肌寒さは感じるものの、今日もまずまずの天候である。

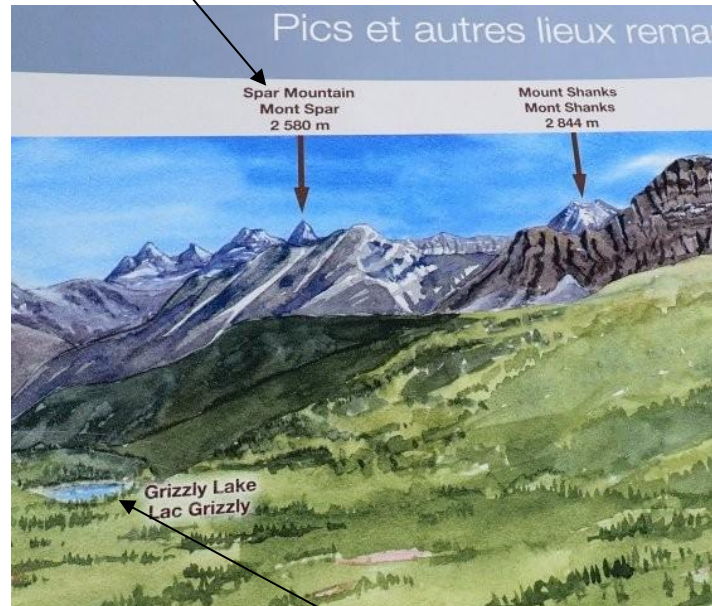
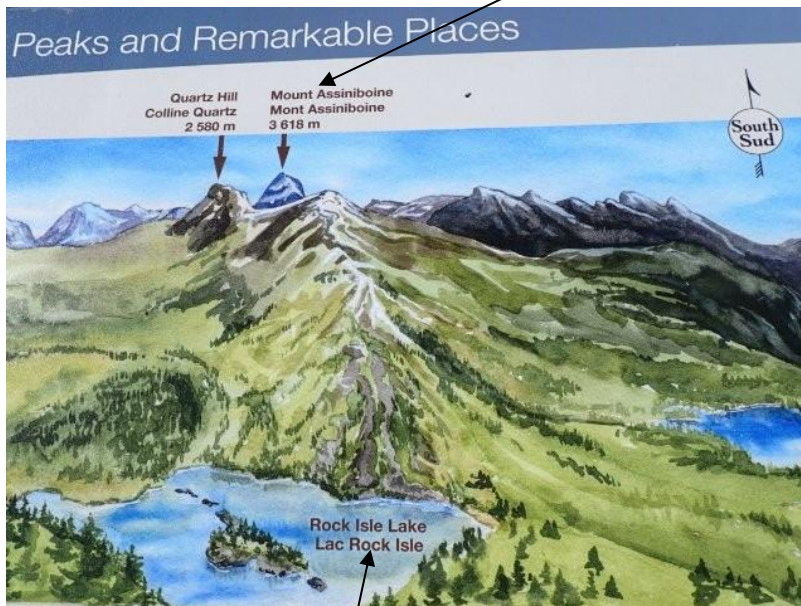
スタンディッシュ展望デッキまでは遊歩道が整備されており、ほとんど高低差もないというので、さっそく歩き始める。



スタンディングチェアリフト降りてスタンディッシュ展望デッキへ向かう

Mt アシニボイン (3,616m)

Mt Spar (2,580m)



ロック・アイル・レイク

スタンディッシュ展望デッキの案内板より

グリズリー・レイク

スタンディッシュ展望デッキからは、眼下にラリックス・レイク、グリズリー・レイク、ロック・アイル・レイクという三つの高山湖を一望することができた。さらに、左奥には先日訪れたアシニボインの岩峰が姿を見せ、右手には尖った山容が印象的な Mt. Spar が望めた。

目の前には、山々と湖が織りなす素晴らしいパノラマが広がっていた。カナディアンロッキー最後のハイキングのスタートとして、まさにふさわしい眺望である。

Mt アシニボイン

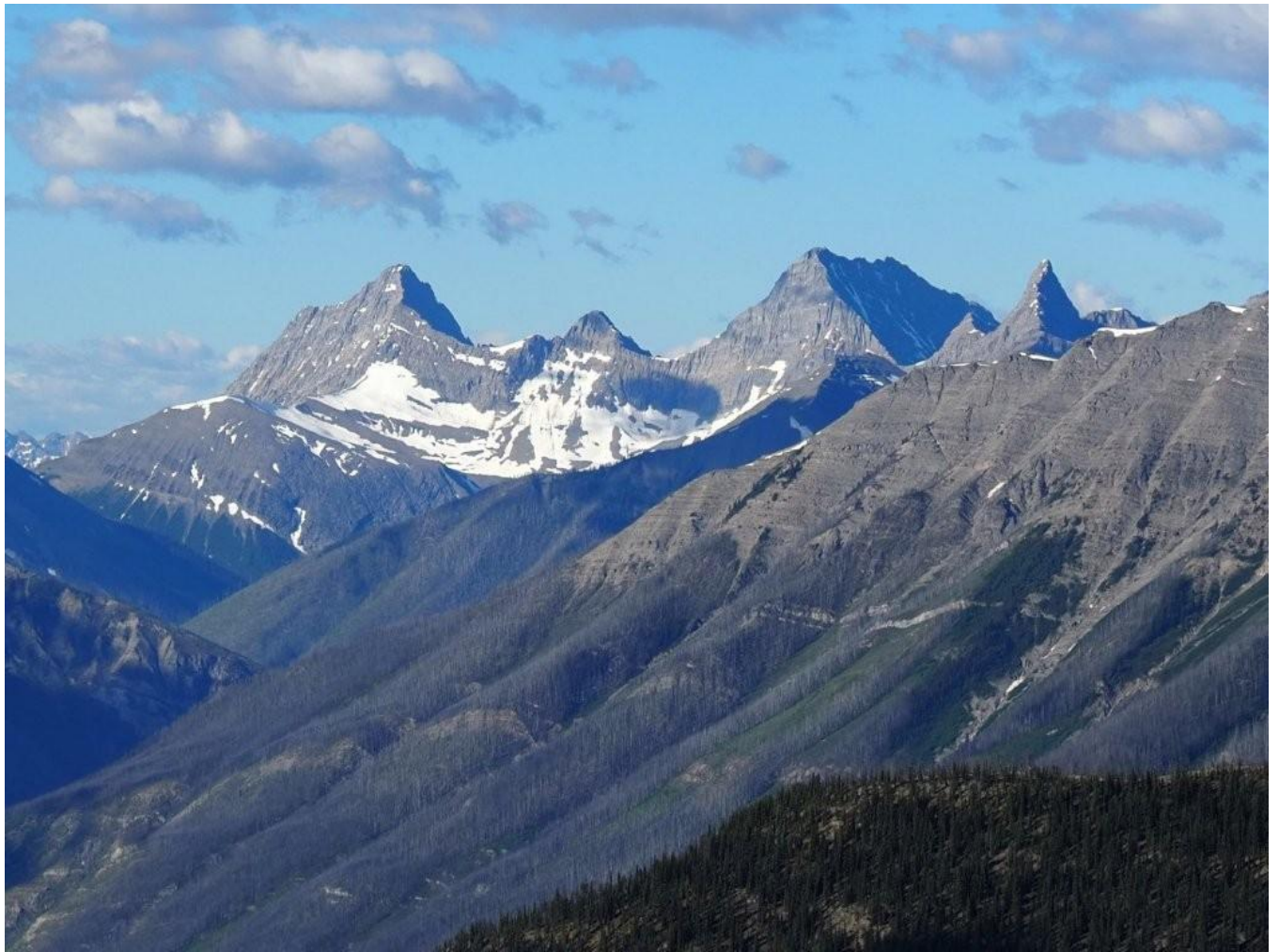
ラリックス・レイク



ロック・アイル・レイク

スタンディッシュ展望デッキより

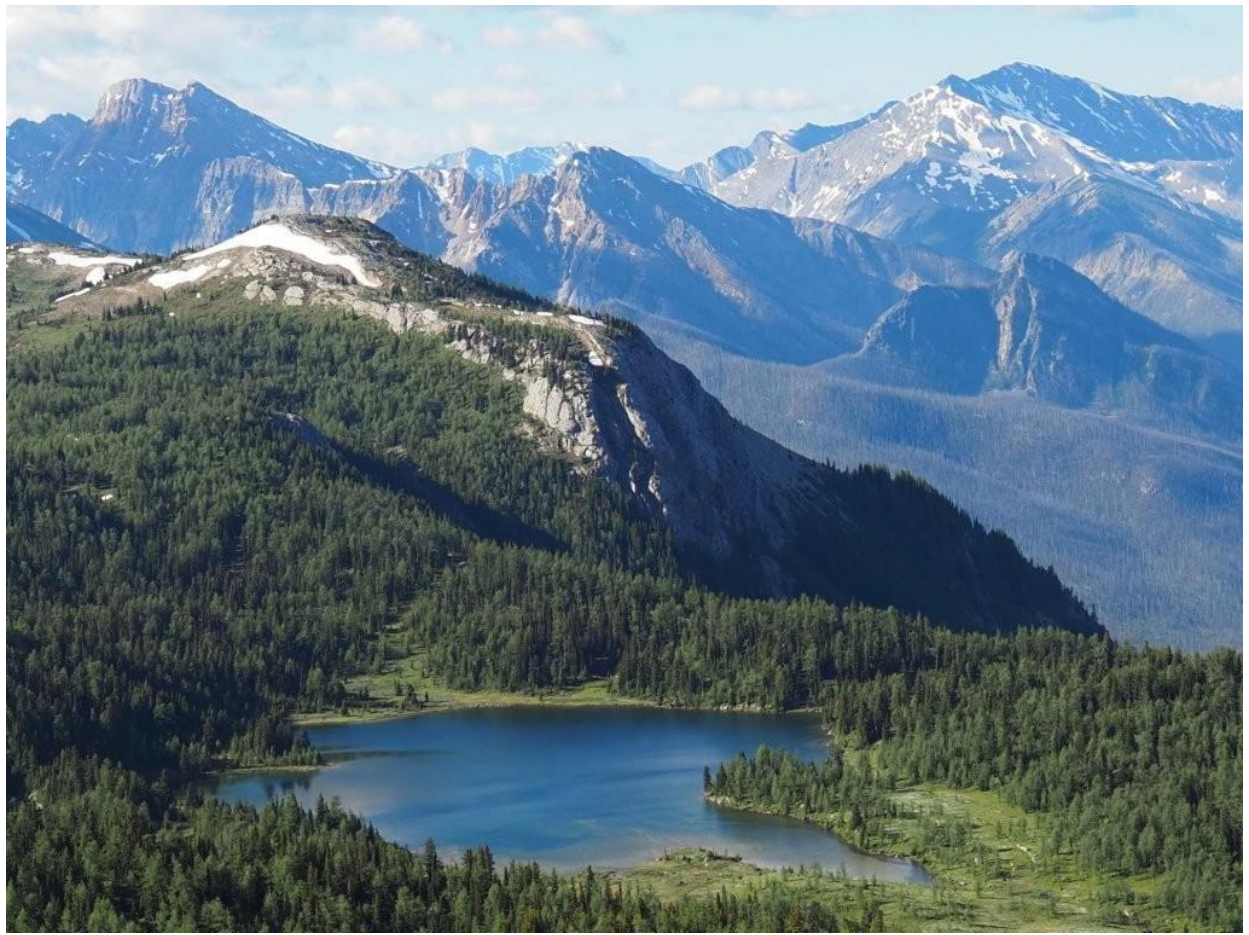
グリズリー・レイク



スタンディッシュ展望デッキより 右のニードルの岩峰が Mt Spar 〔望遠〕



スタンディッシュ展望デッキよりのアシニボイン 〔望遠〕



スタンディッシュ展望デッキより一番奥に位置するラリックス・レイクを望む〔望遠〕



ウェスタン アネモネ



ウェスタン アネモネ 花が終わった後





スタンディッシュ展望デッキから下り ロック・アイル・レイクを望む



ロック・アイル・レイク湖畔にて



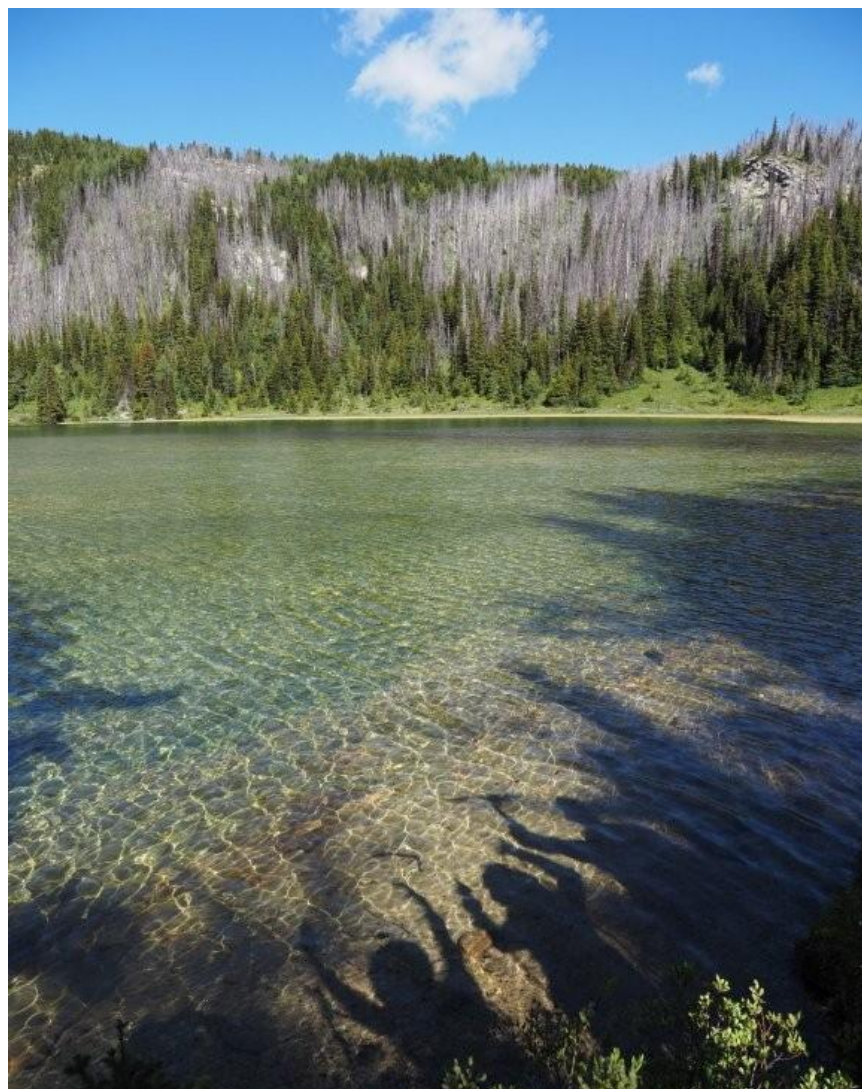
ロック・アイル・レイクからグリズリー・レイクへ



ツガザクラ属 イエロー ヘザー (Yellow Heather)



グリズリー・レイク

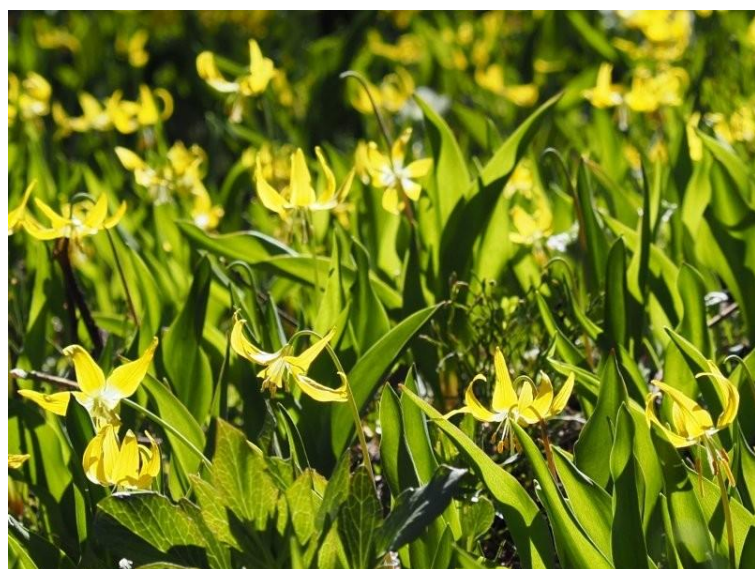
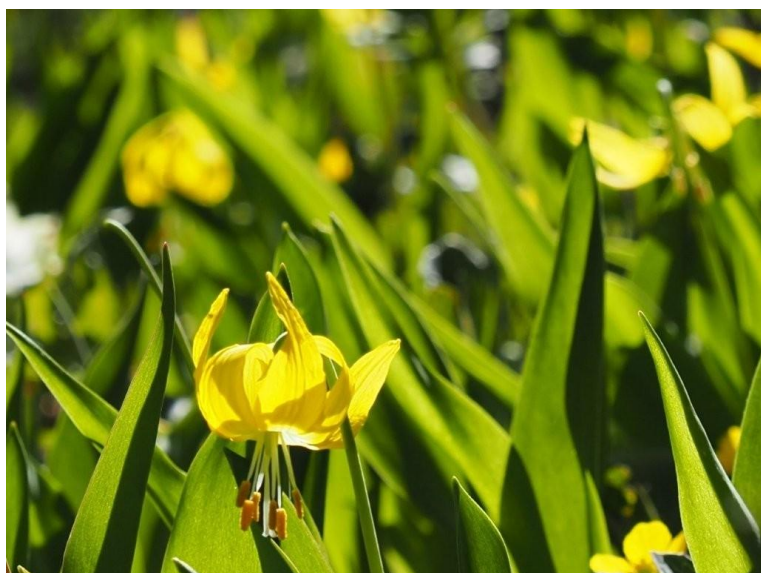


グリズリー・レイクの湖畔では、遊び心からメンバーに手を挙げてもらい、澄み切った湖面に映る姿と一緒に写真を撮った。さらに進んでシンプソン展望台へ向かう。



シンプソン展望台よりの眺望

湖の周辺では、すでに花を終えたカタクリの株が多く見られたが、シンプソン展望台周辺では、まだ何とか花をつけている株が残っていた。斜めから差し込む光を受けたグレイシャー・リリーは、まるで光をまとったように輝いており、最後の時期に残った花を見ることができたのは幸運だった。



斜光線に照らされ輝いていたグレイシャー・リリー



一番奥のラリックス・レイク



後方 ラリックス・レイク

ラリックス・レイクから
ループ分岐へ向かう





ロック・アイル・レイク展望台にて

ラリックス・レイクからループ分岐を経てスタンディッシュ分岐へ向かう道は、緩やかな登りが続く。ところが、連日の山歩きで疲労が蓄積している現在のわれわれにとっては、この程度の緩やかな登りでもかなりきつく感じられた。そこから再びスタンディッシュ展望デッキへ上る気力もなくなり、ロック・アイル・レイク展望台を経由して下山することにした。



ロック・アイル・レイク展望台より Mt Spar を望む〔望遠〕



ロック・アイル・レイク展望台で出会ったマーモット

ロック・アイル・レイク展望台で休憩していると、ここでもマーモットが姿を現した。周辺をちょろちょろと走り回り、食事をしているグループの近くを何度も行き来している。どうやら、食事のおこぼれを狙っているようだ。

写真を撮ろうと少し後ろに回ってカメラを構えると、しばらくこちらを気にしていたが、やがてこちらを向いてじっと立ち止まった。まるで写真を撮られることを分かっているかのようにポーズをとってくれ、最後の最後までカナディアンロッキーの動物たちを楽しませてもらった。



スタンディングチェアリフトのスタンディッシュ山 頂上駅を望む



シタデル・パス分岐付近



シタデル・パス分岐より西側のスキー場



シタデル・パス分岐よりサンシャインマウンテンロッジへ下る



サンシャインマウンテンロッジのゴンドラ乗り場に到着

ロック・アイル・レイク展望台を過ぎると、西側に広がるスキー場が見えてくる。やがてシタデル・パス分岐からサンシャイン・マウンテン・ロッジへ戻り、ゴンドラに乗ってサンシャイン・ビレッジへ下った。



バンフサンシャインサマーゴンドラ乗り場

カナディアンロッキーでの最後のハイキングを終え、明日はカルガリーからバンクーバーへ移動する。若い頃とは違い、連日の山歩きで蓄積した疲労はなかなか抜けなかったが、それでも最後まで歩き通すことができた。

振り返れば、アシニボインをはじめ、レイク・ルーズ、エメラルド・レイク、ペイトー・レイク、スタワマス・チーフなど、数多くの素晴らしい山や湖を巡ることができ、十分すぎるほど充実したカナディアンロッキーの山旅となった。

明日からは舞台をバンクーバー、そしてウイスラーへ移し、カナダの旅はさらに続く。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura